

新居浜市の学校図書館支援について

新居浜市立図書館

～学校図書館を学校教育の中心へ～

学校図書館支援員の取り組み

1. 図書館をより身近に…

分類講座



図書館の整備が終わった学校には、図書館の本の並び方のルールなどを説明する「分類講座」を行っています。

ブックトーク



テーマに沿った内容の本を筋道をたてながら説明します。終了後は貸出がグッと増えます。写真は「環境」のブックトークです。

2. 学校図書館を活用した授業の調べ学習

6年社会の学習



幕末に活躍した人物を図書館の本を使いグループ毎で学習し発表。龍馬など幕末の人物の関係がよくわかったとの声。

百科事典の学習



図書館の基本図書である百科事典の引き方の学習です。索引などの引き方を少し教えれば、柔軟性のある子どもたちのこと、次々と言葉を探していきます。これは、全ての学習の基本になります。

読書のさかんなにはれ
図書館キョウケン
「としよくん」



3. 開かれた学校図書館へ

図鑑で検索中...



捕まえたカエル

昼休み校庭で捕まえたカエルの名前を図鑑で探しています。「困ったときは図書館へ」—我々の理想としているところに近づきつつあります…

昼休みお話会開催中！



図書委員さんが、低学年の児童らに読み聞かせをしています。こんなほほえましい場面もよく見られるようになりました。

図書委員さん活躍



図書委員会では、図書館の季節の飾りつけや本の紹介もお手の物！

貸出風景



学校図書館が活発になった学校では、教職員らが手作業で図書館の電算化を行いました。結果児童らは、本の貸出と図書館が大好きになりました。

平成20年度から、学校図書館の機能アップのために、学校図書館支援員を市立図書館より派遣しています。開始前の調査時点では、「鍵のかかった本の倉庫」の印象の学校図書館が多かったのですが、図書館整備を学校の協力を得て行き、開かれた空間を目指しました。昼休みの利用者が、10名不足だった学校図書館が、平均60名利用のある図書館へと変化した学校もあります。

「読書センター機能」ばかりでなく、「学習センター機能」のアップも目指し、授業内容に応じた図書の団体貸出、またそれに付随したブックトーク(本の紹介など)の授業支援も支援員が行っています。

今後も、新居浜の子どもたちが心豊かに学校生活を送れるよう、また知りたいという好奇心を育めるよう、市立図書館からも支援をつづけていきたいと考えています。

平成25年4月